



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
 コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 川崎 弘敬

TEL 084-923-5552

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日

配当支払開始予定日

2021年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	23,931	6.1	429	23.1	640	2.4	304	13.9
2020年3月期	25,496	8.9	558	16.7	656	9.3	353	29.5

(注) 包括利益 2021年3月期 328百万円 (18.0%) 2020年3月期 400百万円 (8.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	24.57		5.8	4.3	1.8
2020年3月期	28.55		7.0	4.4	2.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 74百万円 2020年3月期 66百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	14,599	5,336	36.5	431.01
2020年3月期	14,978	5,156	34.4	416.47

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,335百万円 2020年3月期 5,155百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,342	143	1,010	917
2020年3月期	844	1,526	258	731

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		6.00		6.00	12.00	148	42.0	3.0
2021年3月期		6.00		6.00	12.00	148	48.8	2.8
2022年3月期(予想)		6.00		6.00	12.00		28.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000		750		800		520		42.00

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。なお、当社は2022年3月期より連結業績予想の公表は通期のみといたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	13,495,248 株	2020年3月期	13,495,248 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,115,225 株	2020年3月期	1,115,225 株
期中平均株式数	2021年3月期	12,380,023 株	2020年3月期	12,380,023 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	700	8.6	264	54.1	275	3.5	180	24.1
2020年3月期	645	2.1	171	25.4	265	20.9	145	55.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	14.57	
2020年3月期	11.74	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	7,901		3,593		45.5		290.23	
2020年3月期	8,298		3,525		42.5		284.73	

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,593百万円 2020年3月期 3,524百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4、「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発出されるなど経済活動の抑制により、個人消費、特にレジャー、外食関連を中心に急激に減少し、厳しい経済状況が続きました。

このような状況のなか、アシードグループは足元の状況の変化に素早く対応しながら、将来どこまで成長したいのかを夢に描き、それを達成するために何を改革すべきかの「未来志向の経営」を中期経営方針に掲げ、企業理念を大切にされた誠実な行動と、将来の根幹となるビジネスモデルの確立に経営資源を集中してまいりました。最も重点を置いたのはブランディングで、グループ一体となってブランド価値を高める活動を継続してまいりました。

売上高については、飲料製造事業は好調に推移したものの、自販機運営リテイル事業が新型コロナウイルスの感染拡大による影響を大きく受けたため、前年同期比6.1%の減少となりました。収益面においては、自販機運営リテイル事業の低迷を受け、徹底したコスト削減やオペレーション効率の向上に努めたほか、雇用調整助成金収入もあり、経常利益は微減となりました。

なお、当第4四半期連結会計期間において土地建物及び飲料製造事業の機械装置の一部を減損処理することを決定し、減損損失160百万円を特別損失に計上しております。

また、海外拠点をベトナムに集約することで、人員等資源を効率的に運用する体制を構築しました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高23,931百万円（前年同期比 6.1%減）、営業利益429百万円（同 23.1%減）、経常利益640百万円（同 2.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益304百万円（同 13.9%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によるテレワークの定着や、集客が遅れる観光地やレジャー施設などのインドア・ロケーションを中心に厳しい環境が続いております。特に前年4・5月は大幅な減少となったものの、徐々に持ち直しておりますが、コロナ前の水準には及ばない状況が続いております。こうした環境のもと、同業オペレーターとの資本業務提携や営業拠点の統廃合を進め、ルート効率の改善、契約条件の改定と併せ、抜本的なコスト構造の改革を進めてまいりました。

また、グループ内事業再編により創設したアシード株式会社の飲料ウェルネス事業部では自社ブランドの販売拡大に取り組みました。特に、自社オリジナルRTD商品の「ASEED ASTER」（アシード アスター）は雑味のない美味しさが好評を得て、売上は前年を大きく上回りました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は11,914百万円（前年同期比 20.1%減）、セグメント損失は92百万円（前年同期は127百万円のセグメント利益）となりました。

② 飲料製造事業

飲料製造事業におきましても一時期、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、企画提案型(ODM)の営業を強化するとともに、生産現場の人材育成に力を注ぎ、安定的かつ効率的な生産体制により、炭酸飲料・低アルコール飲料を中心に前年度を上回る実績を達成しました。特に、コロナ禍における巣ごもり需要により、缶チューハイ等のOEM、ODMが堅調に推移しました。一方、ソフトパウチ飲料については、スポーツ需要が大幅に減少したことにより受注も大幅減となりました。

この結果、飲料製造事業の売上高は11,795百万円（前年同期比 14.5%増）、セグメント利益は816百万円（同 8.5%増）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

主要販売先である遊技場業界は新型コロナウイルスの影響を受け、厳しい事業環境が続きました。本格コーヒーを景品として提供する「アオンズ・カード」の売上高、セグメント利益は大きく減少いたしました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は66百万円（前年同期比 46.0%減）、セグメント利益は3百万円（同 56.5%減）となりました。

④ 不動産運用事業

当社及びアオンズエステート株式会社を中心に不動産の運用を行っており、本年度より「アシードロジスティクスセンター(ALC)」がテナント型物流倉庫として運用が始まりました。

この結果、不動産運用事業の売上高は154百万円（前年同期比 5.7%減）、セグメント利益は172百万円（同 3.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、5,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加172百万円、受取手形及び売掛金の増加265百万円、商品及び製品の減少148百万円、前払費用の減少64百万円及びその他の減少107百万円等によるものです。また、固定資産は9,337百万円となり、前連結会計年度末に比べ、474百万円減少いたしました。これは建物及び構築物（純額）の減少88百万円、機械装置及び運搬具（純額）の減少81百万円、土地の減少99百万円、リース資産（純額）の減少175百万円、投資有価証券の増加102百万円、その他の減少128百万円及び貸倒引当金の減少134百万円等によるものです。

この結果、総資産は14,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は7,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ313百万円増加いたしました。これは買掛金の減少154百万円、短期借入金の増加150百万円、未払金の減少78百万円、未払消費税等の増加194百万円及びその他の増加194百万円等によるものです。また、固定負債は2,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ872百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少610百万円、リース債務の減少208百万円及び役員退職慰労引当金の減少57百万円等によるものです。

この結果、負債合計は9,263百万円となり、前連結会計年度末に比べ559百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は5,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する当期純利益による増加304百万円及び剰余金の配当による減少148百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は36.5%（前連結会計年度末は34.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ185百万円増加し、当連結会計年度末には917百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,342百万円（前年同期比58.9%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益458百万円、減価償却費670百万円、減損損失160百万円、たな卸資産の減少額179百万円、長期前払費用の減少額187百万円、その他資産の減少額241百万円、未払消費税等の増加額193百万円及びその他負債の増加額126百万円等によるものであります。一方で、貸倒引当金の減少額137百万円、売上債権の増加額265百万円及び仕入債務の減少額162百万円等による資金の減少がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、143百万円（同90.6%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出205百万円、定期預金の預入による支出69百万円によるものであります。一方で、定期預金の払戻による収入82百万円等による資金の増加がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,010百万円（前年同期は258百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出635百万円、リース債務の返済による支出375百万円及び配当金の支払額148百万円等によるものであります。一方で、短期借入金の純増額149百万円による資金の増加がありました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による経済活動の停滞や、海外との往来の制限や外出の自粛による消費の低迷は継続しており、観光・レジャー施設の営業自粛やテレワークによるオフィス内需要減退の影響により、自販機での販売数量の低迷が続くものと見込まれます。これに対して取引条件の改定、ルート効率の改善等コスト構造の改革を継続すると共に、アシードブランド商品の販売拡大に注力してまいります。

併せて、当社グループが製造、販売する飲料水は生活必需品として、安定的な供給は当社グループに求められる使命でもあります。従業員の健康・安全確保を第一に、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化や天候の変化を注視し、足元の的確な対応と将来を見据えた計画的な行動を図ってまいります。

このような環境の中、翌連結会計年度（2022年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高18,000百万円、営業利益750百万円、経常利益800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益520百万円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの外国人株主比率は現在 2.8%であり、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び他社のIFRS採用動向を踏まえ、IFRSの適用について検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	792,989	965,554
受取手形及び売掛金	1,791,947	2,057,305
商品及び製品	1,434,540	1,286,484
原材料及び貯蔵品	208,796	183,643
前払費用	336,932	272,022
その他	609,285	501,996
貸倒引当金	△7,608	△4,757
流動資産合計	5,166,883	5,262,248
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,449,675	4,481,511
減価償却累計額	△2,794,802	△2,915,455
建物及び構築物 (純額)	1,654,872	1,566,056
機械装置及び運搬具	3,791,061	3,846,707
減価償却累計額	△2,447,323	△2,584,857
機械装置及び運搬具 (純額)	1,343,737	1,261,850
工具、器具及び備品	221,299	251,506
減価償却累計額	△188,321	△197,884
工具、器具及び備品 (純額)	32,978	53,622
土地	3,892,016	3,792,253
リース資産	2,211,336	1,881,009
減価償却累計額	△1,228,073	△1,073,462
リース資産 (純額)	983,263	807,547
建設仮勘定	56,693	16,134
有形固定資産合計	7,963,562	7,497,465
無形固定資産		
のれん	31,769	32,252
リース資産	50,846	32,361
その他	89,030	74,995
無形固定資産合計	171,645	139,609
投資その他の資産		
投資有価証券	663,411	765,562
長期貸付金	6,905	3,123
長期前払費用	500,706	368,113
繰延税金資産	153,405	205,332
その他	546,753	418,040
貸倒引当金	△194,999	△60,124
投資その他の資産合計	1,676,181	1,700,049
固定資産合計	9,811,390	9,337,124
資産合計	14,978,273	14,599,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,409,268	2,254,734
短期借入金	1,970,000	2,120,000
1年内返済予定の長期借入金	615,716	610,716
リース債務	369,240	341,070
未払金	678,423	600,355
未払法人税等	96,423	148,723
未払消費税等	56,643	250,790
賞与引当金	121,893	110,910
その他	625,859	819,908
流動負債合計	6,943,468	7,257,209
固定負債		
長期借入金	1,759,985	1,149,269
リース債務	723,025	514,032
繰延税金負債	—	10,454
再評価に係る繰延税金負債	34,464	34,464
役員退職慰労引当金	101,975	44,125
退職給付に係る負債	131,283	131,799
資産除去債務	4,100	4,100
その他	123,963	117,810
固定負債合計	2,878,797	2,006,054
負債合計	9,822,266	9,263,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	4,430,622	4,561,631
自己株式	△588,250	△588,250
株主資本合計	5,653,622	5,784,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,150	50,882
土地再評価差額金	△490,212	△465,627
為替換算調整勘定	△15,711	△33,930
その他の包括利益累計額合計	△497,773	△448,675
新株予約権	158	152
純資産合計	5,156,007	5,336,109
負債純資産合計	14,978,273	14,599,372

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	25,496,924	23,931,353
売上原価	16,436,906	16,636,315
売上総利益	9,060,018	7,295,038
販売費及び一般管理費	8,501,268	6,865,403
営業利益	558,750	429,635
営業外収益		
受取利息	2,365	1,584
受取配当金	5,525	8,194
持分法による投資利益	66,163	74,735
投資事業組合運用益	34,103	4,860
不動産賃貸料	12,289	7,856
受取賃貸料	9,260	6,420
受取保険金	3,470	250
助成金収入	18,562	157,132
為替差益	—	1,467
その他	34,339	33,405
営業外収益合計	186,080	295,907
営業外費用		
支払利息	52,562	45,394
投資事業組合運用損	6,942	10,078
その他	28,921	29,744
営業外費用合計	88,426	85,217
経常利益	656,403	640,325
特別利益		
固定資産売却益	1,184	111
特別利益合計	1,184	111
特別損失		
固定資産除却損	18,149	7,213
減損損失	327	160,792
投資有価証券評価損	102,788	80
お別れの会関連費用	—	13,985
特別損失合計	121,265	182,071
税金等調整前当期純利益	536,323	458,365
法人税、住民税及び事業税	202,663	213,460
法人税等調整額	△19,797	△59,249
法人税等合計	182,866	154,210
当期純利益	353,457	304,154
親会社株主に帰属する当期純利益	353,457	304,154

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	353,457	304,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,517	42,732
土地再評価差額金	—	24,585
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,989	△18,218
その他の包括利益合計	47,528	49,098
包括利益	400,985	353,253
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	400,985	353,253

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798,472	1,012,778	4,213,345	△588,250	5,436,345
当期変動額					
剰余金の配当			△136,180		△136,180
親会社株主に帰属する当期純利益			353,457		353,457
土地再評価差額金の取崩					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	217,277	—	217,277
当期末残高	798,472	1,012,778	4,430,622	△588,250	5,653,622

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△43,366	△490,212	△11,722	△545,302	251	4,891,294
当期変動額						
剰余金の配当						△136,180
親会社株主に帰属する当期純利益						353,457
土地再評価差額金の取崩						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	51,517	—	△3,989	47,528	△93	47,435
当期変動額合計	51,517	—	△3,989	47,528	△93	264,712
当期末残高	8,150	△490,212	△15,711	△497,773	158	5,156,007

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	798,472	1,012,778	4,430,622	△588,250	5,653,622
当期変動額					
剰余金の配当			△148,560		△148,560
親会社株主に帰属する当期純利益			304,154		304,154
土地再評価差額金の取崩			△24,585		△24,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	131,009	—	131,009
当期末残高	798,472	1,012,778	4,561,631	△588,250	5,784,632

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価差額 金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	8,150	△490,212	△15,711	△497,773	158	5,156,007
当期変動額						
剰余金の配当						△148,560
親会社株主に帰属する当期純利益						304,154
土地再評価差額金の取崩						△24,585
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	42,732	24,585	△18,218	49,098	△6	49,092
当期変動額合計	42,732	24,585	△18,218	49,098	△6	180,101
当期末残高	50,882	△465,627	△33,930	△448,675	152	5,336,109

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	536,323	458,365
減価償却費	670,355	670,356
減損損失	327	160,792
のれん償却額	13,108	10,052
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,360	△137,726
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,258	△10,982
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	△80,850
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,425	515
受取利息及び受取配当金	△7,890	△9,778
支払利息	52,562	45,394
持分法による投資損益 (△は益)	△66,163	△74,735
投資有価証券評価損益 (△は益)	102,788	80
投資事業組合運用損益 (△は益)	△27,160	5,218
固定資産売却損益 (△は益)	△1,184	△111
固定資産除却損	18,149	7,213
助成金収入	△18,562	△157,132
売上債権の増減額 (△は増加)	97,138	△265,184
たな卸資産の増減額 (△は増加)	74,946	179,645
長期前払費用の増減額 (△は増加)	249,134	187,949
その他の資産の増減額 (△は増加)	79,837	241,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	△203,981	△162,851
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△123,563	193,623
その他の負債の増減額 (△は減少)	△337,218	126,732
その他	2,991	△1,329
小計	1,121,465	1,387,036
利息及び配当金の受取額	52,677	9,809
利息の支払額	△53,268	△45,649
法人税等の支払額	△298,418	△152,518
保険金の受取額	3,470	250
助成金の受取額	18,562	157,132
お別れの会関連費用の支払額	—	△13,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	844,487	1,342,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,449,454	△205,929
有形固定資産の売却による収入	1,185	111
のれんの取得による支出	△3,260	△1,947
無形固定資産の取得による支出	△38,153	△7,224
投資有価証券の取得による支出	△75,541	△1,530
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	24,107
貸付けによる支出	△15,350	△741
貸付金の回収による収入	1,810	8,084
定期預金の預入による支出	△77,672	△69,204
定期預金の払戻による収入	82,958	82,602
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	47,350	27,733
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,526,127	△143,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△130,000	149,000
長期借入れによる収入	1,500,000	-
長期借入金の返済による支出	△546,609	△635,644
リース債務の返済による支出	△429,023	△375,496
配当金の支払額	△136,180	△148,560
その他	-	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,186	△1,010,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,432	△1,467
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△429,885	185,963
現金及び現金同等物の期首残高	1,161,022	731,137
現金及び現金同等物の期末残高	731,137	917,100

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自販機運営と飲料製造を中心とした複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「自販機運営リテイル事業」、「飲料製造事業」、「飲料サービスシステム事業」及び「不動産運用事業」の4つを報告セグメントとしております。

なお、それぞれの報告セグメントに含まれる主要な製品・商品及びサービスは以下のとおりであります。

- (1) 自販機運営リテイル事業 : カップ飲料、缶・ボトル飲料、紙パック飲料、食品等の自動販売
- (2) 飲料製造事業 : 炭酸・コーヒー系缶飲料、低アルコール飲料等の製造・販売
- (3) 飲料サービスシステム事業 : 飲料自販機利用カードの販売・運営・管理、遊技場内におけるコーヒーサービス
- (4) 不動産運用事業 : 不動産賃貸

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,911,753	10,297,775	123,854	163,540	25,496,924	—	25,496,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37,108	246,157	856	154,695	438,818	△438,818	—
計	14,948,862	10,543,932	124,710	318,236	25,935,742	△438,818	25,496,924
セグメント利益	127,971	753,112	8,677	179,092	1,068,854	△510,104	558,750
セグメント資産	5,081,854	6,249,733	17,513	2,766,729	14,115,832	862,440	14,978,273
その他の項目							
減価償却費	297,663	323,539	80	35,102	656,386	14,391	670,778
のれんの償却額	13,503	693	921	—	15,118	△2,010	13,108
持分法適用会社への 投資額	—	215,465	—	—	215,465	—	215,465
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	322,539	503,718	100	892,079	1,718,438	17,476	1,735,914

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△438,818千円は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△510,104千円には、セグメント間取引消去11,941千円、のれんの償却額2,010千円、各セグメントに配分していない全社費用△524,055千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額862,440千円には、各セグメントに配分していない全社資産903,242千円とセグメント間取引消去△40,801千円が含まれております。全社資産の主なもの、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額14,391千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。またのれんの償却額の調整額△2,010千円は、各セグメントに配賦不能なものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額17,476千円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,914,949	11,795,253	66,931	154,219	23,931,353	—	23,931,353
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,193	306,179	296	182,532	512,201	△512,201	—
計	11,938,143	12,101,432	67,228	336,752	24,443,555	△512,201	23,931,353
セグメント利益 又は損失(△)	△92,323	816,892	3,775	172,108	900,452	△470,817	429,635
セグメント資産	4,616,814	6,351,234	23,031	2,732,884	13,723,965	875,407	14,599,372
その他の項目							
減価償却費	255,120	356,311	34	49,686	661,152	13,869	675,021
のれんの償却額	10,447	693	921	—	12,062	△2,010	10,052
減損損失	110,292	50,499	—	—	160,792	—	160,792
持分法適用会社への 投資額	—	288,576	—	—	288,576	—	288,576
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	146,909	172,453	—	15,176	334,539	5,768	340,307

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 売上高の調整額△512,201千円は、セグメント間の内部取引消去であります。
 - (2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△470,817千円には、セグメント間取引消去6,918千円、のれんの償却額2,010千円、各セグメントに配分していない全社費用△479,745千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - (3) セグメント資産の調整額875,407千円には、各セグメントに配分していない全社資産920,675千円とセグメント間取引消去△45,267千円が含まれております。全社資産の主なもの、余剰運転資金（預金及び有価証券）及び管理部門にかかる資産等であります。
 - (4) 減価償却費の調整額11,859千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。またのれんの償却額の調整額△2,010千円は、各セグメントに配賦不能なものであり、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,768千円は、各セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	416.47円	431.01円
1株当たり当期純利益	28.55円	24.57円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	353,457	304,154
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	353,457	304,154
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,380	12,380
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第3回新株予約権(新株予約権の数 1,584個)	第3回新株予約権(新株予約権の数 1,521個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。